

第21回 世界石油会議モスクワ大会参加

平成 26 年 6 月 15 日から 19 日の 5 日間、ロシアのモスクワにおいて第 21 回世界石油会議モスクワ大会が開催されました。

1. 概要

世界石油会議（World Petroleum Congress）は 3 年に 1 度開催される、石油産業・技術に関して情報や研究成果を発表したり、参加者同士の交流を深めたりする世界最大の会議です。今回は「Responsibility Energising A Growing World」（成長する世界へのエネルギー供給責任）のテーマで開催され、展示会規模は 80 か国より約 4,800 名、うち日本からの参加企業・団体は 9 社・団体の出展、約 140 名でした。また総来場者（WPC 事務局による）は約 1 万 7 千人でした。JCCP からは西村中東事務所長、総務部企画・広報グループの辻村と岩瀬が参加しました。

2. 出展の目的

世界石油会議は世界の主要国が加盟しており、世界の石油関連産業関係者を横に結ぶ大規模な国際会議の一つでもあり、過去の研修生や JCCP 事業にかかわったことのある要人に再会すること、また今年のホスト国ロシアでの JCCP の知名度を高めていく上で有効と考えことから、ブースを出展することになりました。

3. 展示会

ブースのデザインは日本の伝統的な文化も取り入れ、提灯を模した木造の櫓を設置、内側壁面には艶やかな富士山と桜を背景にしたグラフィックを施しました。富士山と桜を背景に撮影した写真をその場でプリントして差し上げるサービスは集客に大いに繋がり、4 日間で約 300 名の来訪者を迎えることが出来ました。



展示会場（Crocus Expo, Exhibition Center）



JCCP のブース



写真左より（JCCP ブースにて）

日本国内委員会 波多野事務局長、JX ホールディングス 木村代表取締役会長、日本国内委員会 天坊会長
JCCP 佐瀬専務理事、日本国内委員会 黒田副会長、日本国内委員会 辰巳副会長、JX ホールディングス 渡相談役

また6月16日(月)には世界会議日本国内委員会の天坊会長をはじめ委員会主要メンバーが日本から出展した9社・団体の展示ブースを訪問^(※)、JCCPの富士山と桜の日本文化を象徴したブースはとても好評でした

(※) 横河電気、日本国内委員会、千代田化工建設、石油天然ガス・金属鉱物資源機構、日揮、国際石油開発帝石、国際石油交流センター、JX日鉱日石エネルギー、出光興産(訪問順)

4. 所感

世界石油会議は世界の主要国が加盟しており、世界のメジャーな石油関連産業関係者が多く参加しています。モスクワ



イラン国営石油会社 常務取締役
モスタファ カシュコウリ氏(写真左)
1999年および2004年に物流コース参加

というJCCP卒業生や事業関係者が少ない場所にもかかわらず過去の研修生やJCCP事業にかかわったことのある要人に再会し、所在を確認することができました。卒業生の方々が、皆さん重要なポジションに付き各部門で活躍している事を知りました。

集客のために用意した写真撮影も大いに役立ち、記録として残すことができ、また卒業生との再会により現所在等履歴を更新する事ができた等、有意義なブース出展となりました。

(総務部 岩瀬 美佐子)



タイ石油公社 国際販売部門 副社長
ブラニン ラッタナソンバット氏(写真左)
(2005年に石油販売コースに参加)